

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム丹原の郷

(ユニット名) 北町

記入者(管理者)
氏名 山内美登里

評価完了日 平成 19 年 5 月 7 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			開設時に経営者が作った理念を変更はしていないが、管理者が分かりやすい文章にして皆で共有している。		ユニット内での理念を作る事を話し合ったことがある。
			(外部評価)		
			事業所は、利用者一人ひとりののんびり穏やかな生活を支援することを目指す理念と共に、地域の行事等へ参加することで地域の方々と交流できるよう理念を作っておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			掲示や名札の裏に理念を掲載しているが、全職員が充分に実践に向けての取り組みをしているかは把握できていない。		ユニット内での理念、行動計画を作っていきたい。ユニット会や勉強会等の時に繰り返し理念について話し合う機会を設けるよう努めたい。
			(外部評価)		
			センター長は、事業所の理念について、日々の支援に基づきながら、職員に話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			利用者、家族、地域の方々にも理解してもらえるように、利用者を書いてもらって掲示をしたり、行事や運営推進会議の時などに話している。また、地域の行事（敬老会、神明祭り、七夕祭り、秋祭り等）にできるだけ参加をしている。		職員が家族や地域の方たちに伝えるよう会話の中や広報誌に載せたりする。ユニット内にも掲示する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時に気軽に挨拶をするように努めている。近くの畑で作業をしている人、散歩をしている人、近所の人、隣の鉄工所に勤めている人、保育園児等) 菊見会や花火大会などに参加してもらっている。		気軽に立ち寄ってもらえるようイベントを実行していく。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 交流するように常に努めている。秋祭りの神輿、獅子舞、だんじりまた、神明祭、丹原商店街七夕祭りへの協賛、地区の敬老会への参加協力をしている。、 (外部評価) 地域の敬老会の誘い等がある。又、地域の行事開催時には、事業所から何か手伝うことがないかと言うことをお尋ねしている。		地域の祭りや行事に参加している。これからも継続して参加協力していきたい。また、参加できる行事があれば増やしていきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 同じ敷地内にデイサービス事業や居宅支援事業があるので、訪れる高齢者も多い。グループホームの職員も尋ねてくる高齢者の対応をしたり、ユニット内で一緒にお茶を飲んでいただくこともある。介護体験で中学生を迎えた。		現状を継続していきたい。 地域の老人会の方たちとも交流を持ちたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員内では意義を理解している者が少ない。十分取り組んでいるとはいえない。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、各ユニットの主任、センター長がまとめられた。ユニットごとに課題を明らかにされ、今後の取り組みについてもそれぞれで考えておられた。		全職員が具体的改善案を出し合い実行していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)		
			家族や利用者にも参加してもらっている。 職員も各ユニットから代表で参加し、日頃のご様子や 行事報告をしている。 民生委員や市の担当者と話合っている。		多くの関係者の参加を継続していきたい。 話し合いの中で改善案に取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
		事業所の行事の様子を運営推進会議のメンバーにも見 ていただくために、お花見会場で会議を開催された。 利用者個々から得たアンケート結果について、出席者 の方達から意見をうかがった。			
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市の行事に協力したり、当事業所の花見や祭りに参加 してもらっている。		行事に参加していただき近親感を持つことができたの で、機会があるごとに参加してもらいたい。
			(外部評価)		
		事業所でデイサービスやショートステイを行うため に、市へ相談されている。さらなる地域の認知症ケア の向上のためにも、地域の介護サービスのニーズを聴 き取り、市と話合っていきたいと考えておられる。			
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			すべて管理者が対応している。 制度についての勉強会や研修には参加した職員もい る。		職員も権利や制度について理解を深めるようユニット 内で勉強をしていく。その時に管理者に協力してもら う。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止法等についての理解への取り組みを朝会、研 修会でしている。		虐待の起こらないようまた、見過ごす事のないように これからもしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が行っている。		職員も内容を熟知し説明ができるようにしていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者にアンケートをとったり、運営推進会議に参加していただいている。 ユニット会の時に利用者の声をまとめ管理者に報告している。		アンケートを書いてもらったり聞き取っていることは続けたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月に一度の日常生活報告書やグループホーム全体の広報誌を発行して家族に伝えている。 面会時に写真を見ていただいている。 ホームページで伝えている。 身体面や精神面で変化のあった時は電話で報告や相談をしている。		利用者のご様子をどの職員もお伝えできるように日頃からまとめておくようにしたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話をされている。利用者の居室にもご本人のフォトアルバムが置かれていた。又、共用空間にも行事時の写真が掲示されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議を開き市職員や民生委員、地区役員、家族、利用者と一緒に話す機会を設けている。 家族会を開き意見を聞く機会を設け、意見の交換もしていただいている。		職員が介入せずに家族のみで話し合っていたりなど、本音を語り合う機会を設けたい。
			(外部評価) 現在は、ご家族等からの要望はあまり出ず「事業所にお任せします。」という声が多いようである。		今後は、利用者のご家族、又、センター長や担当の職員等で定期的に話し合う場を設けたいと考えておられる。顔を見ながら話し合うことで関係性を深め、意見を聴き取りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 勉強会、職員会、個別面談、ミーティングなどの機会があり意見要望を述べている。 細かいことや入職間もない時でも意見を感じた事や改善への意見を出して欲しいと管理者より言われている。		介護レベル向上や業務改善のための意見や提案をしていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の生活に応じた勤務割だと思う。 急病、家庭事情に応じた休暇が取れるような体制も確保されている。 管理者も勤務体制に協力をしてくれる。 行事や外出時は出勤者を多くし協力できている。		行事や外出のときには多めの職員数にし安全を確保していきたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者には馴染みの職員が対応できるようにしている。		家族から信頼感を持ち続けていただけるようにしている。できる限り異動のないようにしていきたいが、ユニット間での一部交代によるメリットも考えていきたい。
			(外部評価) ユニット間の職員の異動等により、いろいろな利用者とかかわることで職員は経験を積んでおられる。		ユニットのリーダーを主に、利用者ごとにノートを作り、申し送りの漏れがないよう取り組まれることを考えておられた。
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内で月に一度は勉強会を行っている。 法人内での研修や年間研修の予定があり、受講希望できるようになっている。		外部研修の内容を共有できるよう、勉強会等で報告発表している。 段階に応じた研修への機会が与えられている。今後も継続し参加していきたい。 研修参加後の報告書を速く提出できるようにしていく。
			(外部評価) 事業所内で勉強会等を行っておられ、日常の中では、新人職員は、自分だけで決めてしまわず先輩職員に相談しながらアドバイスをもらう等、連携をとりながら取り組まれている。		さらなる事業所の質向上を目指して、職員個々の研修の希望等も聴き取りながら、すべての職員がスキルアップできるよう、研修の計画をされてみてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			連絡協議会やグループ法人内での交流の機会があり情報を得る事ができる。 サービス内容についての話し合いの機会を個人的にももっている。		他のグループホームの見学や、学習会での事例検討などを行っている。 意見交換や経験談をシシツ向上のために活かしている。
			(外部評価)		
			外部研修時、他の事業所の職員の方達と共に学んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者とは接する機会が少ない。 管理者と個人面談の機会に話し合ったり、日常においても悩みやストレスを話せるような雰囲気を作ってもらっている。		勤務時間中に気分転換の時間をとるように管理者から要望があるが充分取れていないので努力して行きたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得や担当の仕事に対して励ましや助言をしている。 ユニット内でのイベントに快く参加してくれる。		運営者の参加を日頃からしていただけるように依頼する。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			管理者やケアマネジャーからの情報を得てからの関係作りになることが多い。 デイサービス利用者であれば事前に顔なじみになれることがある。		情報を共有し利用者との交流を深めてからの入居に至りたい。早い段階で利用者の生活歴を把握するように努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者が殆ど対応し、これまでの経過や状況家族の気持ちなどを伝えてもらっている。		機会を設けゆっくりと話を聞く時間をとるように努めたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人やご家族に思いを聞いて、改善に向けた支援を提案している。殆ど管理者が対応している。		状況などを確認し、相談を繰り返す中で、信頼関係を築いていきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人やご家族に見学してもらう事で、グループホームでの生活を見極めてもらっている。 在宅サービスご利用の方の中には、隣接のデイサービスセンターの利用中にホームとの交流を持ち施設や職員に馴染んでから入居されるように支援している。 (外部評価) ご自宅から事業所へ入居となる方も多い。事業所側からご自宅を訪問されたり、事業所の見学もしていただいている。入居後はご家族が毎晩様子をうかがいに来られたり、又、外泊をされる等、馴染んでもらいやすいよう取り組まれている。		スタッフが自宅に出向いたり、遊びに来てもらったりすることを繰り返しながら安心感を持ってもらうようにしたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の大先輩であるゆえ、利用者に教えてもらいながら和やかな生活ができるように工夫している。 (外部評価) 利用者が穏やかに暮らせるよう、職員自身でも穏やかにいられるよう心がけておられる。職員は、家事と一緒にされたり、味付けについて意見を聞いたりされていた。		支援する側支援される側という意識をもたず、共に支えあえる関係作りを築いていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の思いに寄り添いながら、日常生活のご様子を報告し、情報共有に努めている。		利用者の様子や職員の思いを細かく伝えることで、協力関係が築けるようにしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 花見や敬老会、クリスマス会等の行事に家族を誘って、疎遠になりがちな家族にも関係を継続できるようにしている。 面会時間を制限せず夜間でも尋ねてくれるようにして、手紙や電話なども職員が援助しやりとりを継続させている。		来訪時には利用者と家族の潤滑油になるように心がけたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔から利用している理容室へ行ったり、昔馴染みの知人や近所の人に遊びに来てもらったりしている。		一人一人の生活習慣を尊重していきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) おやつや食事時間に職員も一緒に会話しながら、皆で楽しく過ごす事のできる場面作りをしている。 職員が介入する事により交流がもてたり、共通の会話や家事をすることが楽しんでできるようにしている。		利用者同士の関係性について情報を共有し、トラブルが起こらないように見守っていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院をされた方にはお見舞いに利用者と共に出掛けたりすることがある。しかし、他の介護保健施設に入所された方については管理者が付き合いを継続しているのみである。		入院された方に利用者と一緒に見舞いに行くようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常生活の中で(居室を訪ねた時、入浴介助の時、散歩の時など)声掛けし、把握に努めている。言葉だけでなく表情からも確認するようにしている。</p>		ひとりひとりとゆっくり話す時間を作り、思いや希望の把握をするためのヒントを得る。
			<p>(外部評価)</p> <p>年代別で利用者個々の生活歴を把握しておられた。又、嗜好や行きたいところ等の聴き取りもされ記録し、職員間で共有されていた。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用時に本人やご家族などから聞いているが普段の会話や面会に来てくださった方たちとの会話などからも把握するようにしている。</p>		本人との会話や面会にこられた家族や知人などの話の中から少しでも情報を得られるようにする。また、得た情報をシートに書き込んでいく。
			<p>(外部評価)</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人の暮らし方や生活リズムを把握するように努めている。職員間の申し送りを密にするようにしている。</p>		生活記録や排泄チェック表などから本人のリズムを把握し、職員間で申し送る。また、見守りを中心とし、できることは時間をかけても自分でできるように働きかける。
			<p>(外部評価)</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が自分らしく暮らせるように本人との会話の中などから得た意見や思いなどをスタッフで話し合い介護計画の作成に生かしている。</p>		本人との会話や本人の動作の中から本人がどう暮らしたいのかを一緒に考える。面会にこられた家族さんに少し筒でも意見や希望を聴きそれを反映する。
			<p>(外部評価)</p> <p>現在は、ご本人やご家族からの希望・要望が出にくいようであり、職員が気付きや情報を持ち寄り、介護計画を作成されている。</p>		さらに、利用者にかかわる方達の意見の反映が期待される。又、ご本人から意見を出していただけるような働きかけの工夫等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<p>(自己評価)</p> <p>毎月のユニット会でスタッフの意見交換を行い、介護計画の見直しを検討している。 家族と話し合う機会が全職員にはない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の状態に応じて3~6ヶ月ごとの見直しを行っている。身体機能の低下や病気、服薬の内容が変わった時等には、随時に見直しをされている。</p>		本人や家族の意見を職員間で共有し、それらを踏まえて毎月の介護計画の見直しを行う。 随時体調や心理面での変化に合わせて介護計画を見直す。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価)</p> <p>生活記録に毎日の変化を記録している。 気付いた事や変化のあったことなどは、申し送りノートに記入し情報を共有している。</p>		利用者別の申し送りノートを作る。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>状況により、デイサービスを利用したり、居宅支援事業所のケアマネージャーに福祉用具のアドバイスを受けてたり、市の高齢者サービスの利用手続きを依頼したりしている。 デイサービスの利用者との交流の機会がある。 管理者にまかせている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>美容室に行かれたり病院の受診等には同行し支援している。</p>		デイサービスの利用をする等隣接の特性を生かすような援助をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 歌や踊りを披露してくれるボランティアが来てくれる。 美容師・理容師の方が来てくれカットや眉毛きわぞりをしてくれる。 近くの保育園児や中学生の慰問や交流がある。		今後もボランティアの方々との関係協力を継続し、協力していただけるように働きかける。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 管理者に任せている。		管理者にまかせる。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 管理者に任せている。		管理者にまかせる。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族と話し合い、希望する病院に受診できるように支援している。当事業所のグループ法人である病院から毎週水曜日に内科医師が往診に来ている。医療との連携がとれている。 体調管理や相談、診察を受ける事が出来るので安心である。近くの病院も殆ど協力してくれる。 (外部評価) それぞれのかかりつけ医を受診されており、市外等の病院にかかっておられる利用者については、ご家族が同行することとなっている。協力医療機関に気軽に相談できる。病院にかかっておられない利用者の方もおられ、お誕生日に協力医療機関で健康チェックをされている。		本人家族と話し合い、希望する病院を受診できるよう支援する。 定期的な往診や受診の支援を続ける。また、医療面での連携は継続させてとっていききたい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の専門医に限らず適切な指示や助言をもらっている。		認知症に関する診断や治療対処法など、医療関係の対応が利用者ここにできるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師を配置しており、常に利用者の体調管理や状態変化に応じた支援をしている。		日頃の健康管理や医療面の相談助言対応を継続して行ってもらう。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には介護要約等の入居時のご様子を医療機関に提供している。また、入院中の状態を病院や看護師から密に聞いている。		より短期間にスムーズな退院につながるように病院関係者、本人家族と話し合い必要な支援を行っていきたい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 急変時に即対応できるよう、話し合い、方針の統一を図っている。 (外部評価) 認知症の症状の悪化での退居はないが、利用者の身体レベルの低下の状態によっては、グループホームでできないことについて、ご家族と話し合いをされ、施設や病院等を紹介されている。		状態の変化があるごとに家族の気持ちの変化に注意を払い、話し合いや説明を明確に行っていく。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 急変した場合はすぐ対応できるよう医療機関とも連携を図っている。 母体法人の病院と連携をとり医師に常に相談し、管理者が家族との話し合いを日頃から行っている。		医療との連携体制を継続し備えをしておきたい。 管理者から家族や医師との話し合いを引き継ぎ、利用者や家族の希望に応じた終末の援助をしていく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 注意が必要な点については、くわしく情報を伝達している。 必要に応じては、アセスメントやケアプランや支援経過などの資料を渡すようにしている。		住替え後もなじみの職員が機会を作って訪問に行くなど、環境の変化による認知症の進行のないように協力をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言葉使いには十分に注意している。 更衣・排泄・入浴時等本人を傷つけないよう対応している。 他の家族や外来者には本人のプライバシーに関することは絶対に話さないように努めている。</p>		<p>馴れ合いになることのないように、尊厳のあることばかけや対応をする。 プライバシーの保護は職員間で徹底して行う。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者の排泄の誘導時、耳元で声をかけておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の気持ちを出来るだけ理解するよう努め、声をかけ利用者が自分で出来る限り納得しながら暮らせるよう努めている。</p>		<p>自己主張をあまりしない利用者に対しては、一対一でゆっくりと話をするなどして希望を聴いたり表情などから読み取ったりする。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>一人一人のペースに沿って見守りながらその時の本人の気持ちを大切に生活をしている。散歩などの距離もそれぞれ違っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人のペースに沿って見守りながらその時の本人の気持ちを大切に生活をしている。散歩などの距離もそれぞれ違っている。</p>		<p>家事やレクレーションをする時にも利用者の一人一人の気持ちをうかがいながらそれぞれのペースにあわせてすすめる。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者個々の性格や好み等を職員は理解し、支援しておられる。</p>		
			<p>個別で細やかなケアが特徴のグループホームの良さをさらに活かして、さらに個々のその人らしい暮らしを支援していかれることが期待される。事業所では、利用者のできることはご自分でできるだけしてもらうよう、支援したいと考えておられ、さらなる自立支援に向けた取り組みが期待される。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出の時などにはお化粧をする方もいる。服装も職員と一緒に決めている。 散髪は利用者の希望に応じた髪型にしている。家族と行きつけの理容室に行く方もいる。 室内履きや安価な下着は職員と買いに行くこともある。		新しい服を購入する時は家族に任せるのではなく、一緒に職員と選ぶことも話し合いたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備盛り付け、後片付け等利用者と職員が一緒にしている。また、食事中にも「・・・さんが切ってくれた野菜がはいっているよ。」などと話しながら皆で楽しく食事をしている。季節の野菜を頂いたりすることが多く、利用者により方を教えてもらっている。 (外部評価) 利用者が食事をする時の姿勢等にも配慮されていた。利用者が職員と共に食事の支度をされたり、洗い物をしておられた。らっきょ作りや梅干し、梅ジュース作りをされていた。		メニューは職員が中心になって決めているが、もっと利用者の意見を入れたい、利用者を書いてもらうなど工夫していきたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつは一人一人の状況や好みに合わせて、部屋に置いている人、職員が預かっている人などさまざまです。 朝食はパン食を好む人にはパン食が食べられるようにしている。		全員が個人持ちのおやつを部屋に置いているのではないので、持っている利用者にはお部屋で食べていただいたり、職員が預かっている方にはそっと手渡したりするなど配慮する。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を使用し記録しパターンを把握し援助している。トイレでの排泄を心がけている。 紙パンツ使用歴があっても布パンツで対応できる方には変更してもらっている。サインを見逃さないようにまた、さりげない誘導を心がけている。		排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄が多くなるようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>希望の時間帯や順番を利用者と相談しつつ行っている。 好みの湯量や温度を聴いている。 入浴を嫌がる方には声掛けをする職員が交代したり、時間をおいて声かけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者のこれまでの生活スタイルを継続して、夕食後に入浴される方もおられる。午後に入浴を勧めても気乗りしなかった利用者の方でも、夕食後には入られるようである。</p>		自分で入浴の支度が出来るように支援していきたい。準備をする時には、ゆったりと待つことができるような介護者になるようにしていきたい。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>日中できるだけ体を動かして心地よい疲れと共に安眠できるように促している。 一人一人の生活のリズムを整えるように努めている。 入眠前には暖かい飲み物や談話などで気持ちや体をリラックスできるようにしている。</p>		寝つきの悪い時の対応については、職員間で情報を共有し、どの職員も対応できるように努めたい。できるだけ薬に頼ることなく安眠できるように支援していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家族や利用者の中からみつけた得意だったことをしていただくようにしている。好きな事や趣味を活かし役割をもってもらい、楽しみながら行ってもらえるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>読書やお部屋の掃除や庭の草花の水やり、犬の世話や外出等それぞれに役割や楽しみごとを持っておられる。職員は、行事等を通して楽しむ機会や動機付けをされている。</p>		家族や利用者、職員とのコミュニケーションをとりながらホームでの生活をより生き生きと暮らせるように支援して行きたい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>お金が無くなったと訴えることにより不穏になるため小銭以外は居室での管理はしていただいていない。ユニットでお預かりしている方は1名である。希望時に使えるように支援し出納帳をつけて管理している。他の利用者は管理者により立替払いをする。個人の買物の時には本人の手から支払ってもらおうようにしている。</p>		本人が買物をしたかったり支払う事を望まれる方には家族と相談し自分で支払うようにしてもらいたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩、外気浴を日課として行っている。 車椅子の方も一緒に出掛けるようにしている。 季節の花見や、ドライブ、果物狩り、外食、足湯、カラオケ等に外出の機会を多くとっている。		外出先が固定化されないか検討しつつ利用者のストレスがたまることのないよう楽しめる支援をしていきたい。また、なじみの場所への外出にも取り組みたい。
			(外部評価) ユニットごとに行事を計画され、外食やドライブ等、外出をされている。又、犬の散歩や敷地内の散策も日常的にされている。		さらに今後、事業所では、利用者の身体レベルのことや個々の希望を踏まえて少人数で外出することも検討されている。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 墓参りには出掛けている。自宅が気がかりで不穩になる方には時々管理者とともにでかけるが、全ての人に個人の希望通りに対応できていない。		特別な楽しみや個別性を考慮し、改めて希望をききたい。旅行の計画を立てたいと言いながら実行に移せていないので、今後も希望を持ち続けたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたい時にはかけてもらっている。 家族からの贈り物へのお礼や育てた花の写真を送ったりして家族との絆を継続できるように支援している。 はがきや切手はいつでも使えるように用意してある。 年賀状を家族に出している。		自由に電話をかけられるように引き続きしていく。 手紙やはがきも書くことができる人には書いていただくように機会をみつけては援助していく。 年賀状や暑中見舞いなどを利用者が出せるように今後も続けたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 笑顔で挨拶し出迎えるようにしている。 部屋に簡易テーブル、椅子、お茶などを持ち込みゆっくりと過ごしてもらうようにしている。 食事時やおやつの時に来た人には一緒に食べてもらう事もある。 季節の野菜などを届けてくれたりする。		今までどおり続けて行きたい。 職員とも顔なじみになり相談に乗ったり気軽に訪問してもらえるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っていない。 勉強会などへの参加も行っている。		勉強会等に積極的に参加し、理解を深めるようにしていく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外施錠を行っていない。 帰宅願望が強い時や外に出たい時は職員が付き添ったり見守るようにしている。 (外部評価) 玄関は開放され、靴箱の上には利用者個々の帽子が積み重ねてあった。		継続して取り組んでいく。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 帰宅願望の強い方、外へ行きたい方がいるので見守りは努力しているが時々気付かず他のユニット職員に知らされることがあった。 ホームより外に出て問題になることはない。		声掛けながら所在確認を怠らないように努める。 夜間は定期的に見守りをしている。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その人により危険となるものは職員がお預かりしている。必要な時にお渡しするようにしている。(はさみ、針、薬など) 洗剤などはリネン庫で施錠して管理している。		希望があればすぐに使用できるように配慮する。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会講習会に参加し知識を得るように努力しているがまだまだ勉強の必要がある。 ヒヤリハット記録を書き皆で事故防止策を検討し合う様にしている。同じ繰り返しをしないようにユニット会を開き話し合っている。		施設内外での勉強会に参加し繰り返し学ぶ必要がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会を開いている。 事例発生後は対応の反省を随時行っている。		できる限り多くの職員が研修会に参加し知識を習得するように努める。 病院や消防署の救急処置勉強会にも引き続き参加する。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災訓練や防火訓練を利用者とともにやっている。 出火場所や避難方法を変えて訓練を行っている。 (外部評価) 大雨の時には、市役所の支所から排水の状態を見に来てくれる。いざという時には、近隣の鉄工所の協力が得られるように働きかけておられる。		夜間にも訓練を行い万が一に備えたい。 大きな災害を想定した訓練や対策も考えて行きたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについては管理者が家族と話し合っている。 暮らしについては介護計画書作成時に話し合っているが、機会を多く持っているとはいえない。		管理者のみでなく、職員も話し合う機会を多く持つようにしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを実施している。 食欲、顔色、歩行状態等いつもと違う事への気付きを発見し、バイタルチェックや報告、看護師への相談を行うように心がけている。 変化や状態の記録を怠らないようにしている。 異常のあるときは医師に相談をし指示を仰いでいる。		毎日のバイタルチェックはこれからも続けていきたい。 異常異常に気がついた時は医師に報告し指示を受けている。早期対応ができていますので続ける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋をカルテに綴りどんな薬を飲んでいるのかを職員が把握できるようにしている。服薬時は氏名を確認し手渡しし、服薬するまで見守っている。薬が変わった時は状態の変化に注意するようにしている。		処方箋をカルテに綴り職員全員が内容を把握できるようにこれからも努める。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材やヨーグルトを作って食後に食べるようにしている。 水分摂取には個別に水分量の把握できる水筒を用意しチェックしている。 毎日の散歩や体操家事活動などで体を動かし自然排便ができるようにしている。		現状の工夫で便秘で服薬の必要な方が少ない。これからも食事内容を工夫していきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後歯磨きの声掛けをしている。利用者に応じて職員が見守ったり介助している。 就寝前はポリドント等で義歯の殺菌を行っている。		毎食後の歯磨きの声掛けは続けていきたい。 口の中を他人に触られることを配慮し一人一人の力に応じた歯磨きを介助していきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量の記録や各個別に水筒を用意し水分量の摂取量をチェックし把握し記録している。 水筒に名前を記入しいつでも自由に飲めるようにしている。食事やおやつ、入浴前後以外にも水分が充分とれるように飲み物を用意している。 (外部評価) 旬の食材をふんだんに利用して、職員と利用者が調理をされていた。利用者個々の水筒が用意されており、利用者が自由にお茶を飲むことができるようになっていた。又、水分摂取量が把握できるようになっている。		水筒や水分チェック表などは継続して活用する。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを活用し勉強会などでも周知している。		全職員の熟知を目指し感染予防をしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に計画を立て調理場の衛生を保つようにしている。衛生栄養委員会を中心に定期的に衛生管理や見直しをしている。 食材は新鮮な物を極力使っている。冷凍食品はあまり使用していない。</p>		<p>衛生管理をこれからも行う。 新鮮な食材は新鮮なうちに使用するよう心がける。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関周りには四季の花を植えている。ホームの前にはベンチを置き気軽に立ち寄り腰掛けてお茶を飲んだりしていただいている。</p>		<p>四季の花を利用者と一緒に育てる。 今後も気軽に立ち寄ってもらえるように声かけたりお付き合いをしていく。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>いろいろな場所に花を欠かさないように利用者と一緒に生けている。季節感を味わえるようように正月飾り、雛人形、五月人形、七夕、クリスマス等の飾り付けをしている。</p>		<p>利用者の意見を取り入れて工夫していくように努める。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、生花や観葉植物がいろいろな場所にさりげなく生けられており、緑の多い空間となっていた。又、手作りの作品や装飾等もあり、あたたかい雰囲気作りをされていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビング以外に廊下の端や陽だまりの場所にソファや椅子を置き一人で過ごしたりおしゃべりができるようにしている。 ウッドデッキや戸外に椅子やテーブルを置きくつろぎのスペースを用意している。</p>		<p>リビングでも気のあった利用者同士でお話ができるように工夫し、席替えも時々行って違う方とも仲良くされるように気にかける。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族、本人とも相談し使い慣れた家具等を持ってきていただけるよう話しているが充分とはいえない。使い慣れたものをお持ちいただくように声かけているが、家族によっては新調しようとされる方がいらっしゃる。 (外部評価) 利用者同士の居室の行き来やしつらえ等を工夫し、くつろぐ空間となっている居室もうかがえたが、中にはご本人のその人らしさが、うかがいにくいような居室もあった。		使い慣れたものの利用することの良さを繰り返し話していく。 季節ごとの利用者の写真を部屋に飾っていく。 さらに、今後事業所では、ご本人の好みなどを踏まえ、職員でアイデアを出し合いたいと考えておられた。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 冷暖房もこまめに調節し気温差が大きくなるように努めている。 居室についても一人一人に対応できるようにしている。 湯たんぽを使用して足の冷えを解消する方もいる。		掃除の時などは特に気をつけて換気をしている。 室温は個人差に配慮し対応していく。 トイレの匂いが気になることのないように換気扇や日頃の清掃などに努める。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 家具の配置など利用者が動きやすいように個々に対応している。 手すりを必要な箇所には取り付けしている。		転倒や生活動作の妨げにならないように家具の配置を工夫する。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室には表札を作ったり目印で覚えられるように工夫している。 トイレには明るい色ののれんを吊るし目印としている。		利用者が混乱しないような個別に応じた工夫をする。
87		建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価) ウッドデッキや玄関前庭にはベンチやテーブルを備えてあり、ひなたぼっこや夕涼みができるようにしている。 外周には草花や季節の野菜を植え世話をみんなで行っている。		ベンチなどを利用し憩いの場となりつつある。 草引きなど自由にしてもらっていく。

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中で利用者の意向を聴くようにしている。生活に慣れて自宅で娘に言っていた時と同じように声を張りあげてほしい事を言ったり、神妙に相談を持ちかけたりする利用者がある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一日の生活がゆったりと時間が流れているように思う。利用者がリビングに出てくることがほとんどであり、来客時などの緊張のない時は職員と共にゆっくりと過ごさせている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	目覚めや就寝時間、入浴時間なども各自のペースに合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	精神的に不安の強い疾患をもたれた利用者や歩行困難で言葉の出にくい利用者も職員や利用者の声掛けで表情がにこやかになったり、相槌をうったりできている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	歩ける方はホーム内は自由に行き来をしているが、歩行ができない方は思うように移動できているかはわからない。外出は各自のいのままにできているとはいえない。また、個々の希望を聴いてはいるが毎日家に帰りたい人がいるので思い通りにさせてあげられない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	健康管理においては毎週の往診や、異変時には看護師や医師の対応がすぐできるので不安があることをいう方はいらっしやらない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	家族との会話の中や日常の職員との話のなかでは比較的安心して楽しく過ごしているように思われる。援助している私たちも楽しく感じる生活時間が多い。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらい 3 家族の1/3くらい 4 ほとんどできていない	家族との込み入った話は管理者がおこなっているが、面会時などに話を聞いたり相談にのることもある。いろいろな連絡や面会時、行事参加時などのご家族の雰囲気からは信頼関係はできていると思われる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	畑の野菜ができたとき持ってきてくれたりや介護の相談、庭の花の話などに訪れる。

